

椎葉村交流拠点施設の愛称を募集します！

募集期間：令和元年11月15日（金）まで（必着）

令和2年7月オープン予定

新しい施設で出来ること、どんどん起こる楽しいこと。

今後世界は、高速通信やテクノロジーの進化が進み、都会と地方での地域間格差がどんどん無くなる時代へと進んでいきます。

私たちは都会から遠く離れた椎葉村に住みながら、技術の進んだ時代の恩恵を十分に受けつつ、椎葉に残されてきた自然や伝統と共存する心豊かな生活を送ることができます。

ここはまさに、そんな椎葉の未来を形にする施設です。「ONLY ONE Shilba」という世界をリードする村を創り、一度は椎葉村を離れる子ども達が、再び帰ってきたいと思える、ミツバチの巣箱のような場所にしたいと思っています。

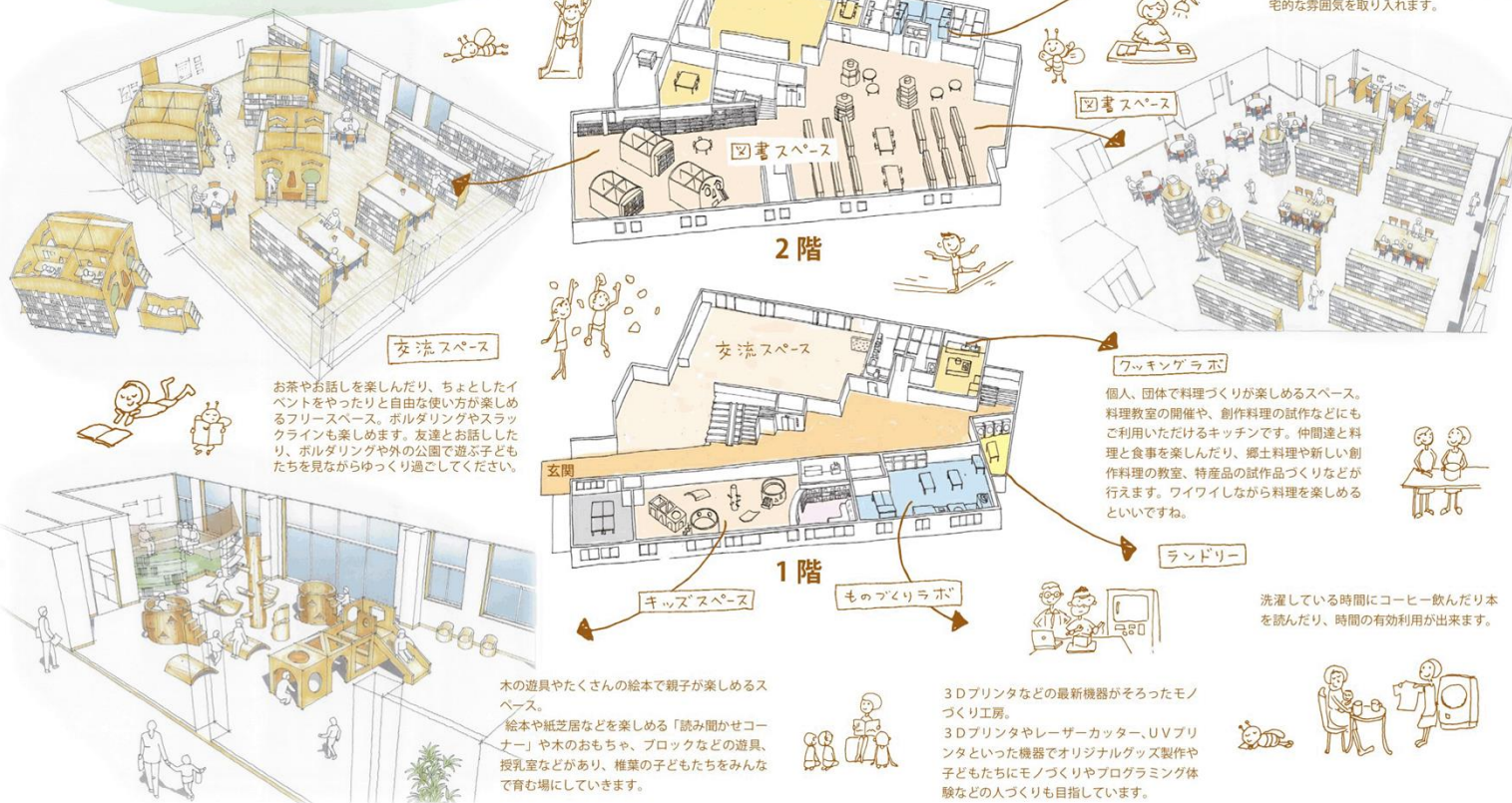
生涯学習など趣味の活動や会議など多様な使い方が可能なスペースです。音楽やダンス、映画観賞など様々な楽しみ方が出来る環境づくりを目指しています。

ウェブ会議や打ち合わせに便利な小型会議室、勉強や仕事も出来ます。半個室の空間でWiFi完備なので、web会議なども可能です。会議室として使用されない時は卓球も楽しめるなど色々な使い方を想定しています。

村内外の人々がちょっと汗を流したい時に使えます。入浴施設がない椎葉村で観光客や、仕事帰りの人、部活動帰りの中学生などもスッカリして施設を利用していただけます。



一般書・漫画が4万冊揃いゆくり本が楽しめる。好奇心をくすぐる本の展示でワクワクする図書スペースを目指しています。ゆくり本が楽しめるようにソファや寝転んで読めるような少し自宅的な雰囲気を取り入れます。



募集要領は裏面

コンセプトメッセージ 「新しいって、懐かしい」

子どもたちがいくつもの「新しい」を椎葉でみつけられるように、交流施設には「新しい」が
いっぱいです。
そして子どもたちの「新しい」は、椎葉だけの「懐かしい」にかわるから。
いまの「新しい」は、いつかの「懐かしい」にかわるから。
新しいって、懐かしい。
この交流施設は椎葉にしかない、新しくて懐かしい場所。
いつでもかえってこられる場所。
椎葉の未来が、ここからはじまります。
椎葉の思い出も、ここからはじまるのです。

「新しいって、懐かしい」というキャッチフレーズに込めたのは、椎葉の子どもたちが新たな
学びを交流施設で得て、またこの場所に帰ってきてほしいという願いです。まるで椎葉の
日本みつばちのように大切な椎葉の子どもたちを育む場所としての交流施設。そうしたコ
ンセプトのもと、現在交流施設の構想は最終段階をむかえております。
ぜひともこのコンセプトメッセージをご参考に、新しい交流施設の愛称をご応募いただ
ければ幸いです。

施設について 「椎葉だけの、新しい交流施設」
九州のほとんど真んなか、宮崎の山奥にある村。日本三大秘境椎葉村。
ここに新しい交流施設ができます。
大自然に恵まれた椎葉ですが、人の数がだんだんと減ってしまっているのはすこさびし
いことです。
だから椎葉の子どもたちは、とっても大切にされています。元気にすくすく大きくなってほ
しい。いつか、椎葉にかえってきてほしい。私たちはひとつの家族のように、子どもたちを大
切にしています。
私たちは、椎葉の子どもたちが氣にしてくれるような、そしていくつになってもかえってき
てくれるような、そんな新しい交流施設をつくりました。
そこは大人たちが集まる場所でもあり、椎葉を訪れる人たちとの出会いの場でもあります。
そのどんな場面にも、子どもたちの笑い声がともにあること。私たちが描く椎葉だけの交流
施設は、そういう場所なのです。

「子どもたちが帰ってきたくなる場所」
子どもたちのように大切に貴重なのが、椎葉の日本みつばち。
氣にいつでももらえる巣箱をつくらないと、日本みつばちは巣箱に入ってくれません。そのか
わり一度氣にいったら、巣箱が同じ場所にあるかぎり、きつとかえってきてくれます。
日本みつばちは椎葉の山に咲く花の蜜を味わい、その蜜は美しく味わい豊かな蜂蜜にな
ります。
子どもたちにもこの場所で、何冊もの本を味わってほしい。
新しいものづくりを知ってほしい。
新しいはたらきかたを知ってほしい。
そしてここに集まる椎葉の大人たちや椎葉を訪れる人たちと、新しい出会いを経験してほ
しい。
この交流施設には、椎葉のみつばちたちのための「新しい」がいっぱいです。
飛びたて、椎葉のみつばちたち。
そしていつでも、帰っておいで。

椎葉村交流拠点施設愛称募集要領

- 応募資格・要件
 - ・どなたでも応募できますが、１人２点までとします。
- 募集内容
 - (１)施設名称【ふりがなも記入する事】
 - ①4～10文字
 - ②簡潔明瞭で覚えやすく親しみやすいもの
 - ③左記の施設コンセプトなどを踏まえ、施設全体をイメージしたもの
 - ④応募者自身が創作した未発表のもので、第三者の著作権、商標権などの知的財産権を侵害しないもの
 - (２)応募方法
 - ①郵送、FAX、E-Mail又は下記公募先へ直接提出してください。
(E-Mailの場合は、件名に「椎葉村交流拠点施設愛称募集」と入力)
 - ②応募にあたっては、施設愛称（ふりがな）、愛称の説明、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、電話番号、性別、年齢を明記してください。
- 賞
 - ・最優秀賞１点（団体の場合は賞金8万円、個人の場合は賞金5万円）
(同愛称名の応募が２点以上の場合は、抽選とします。)
- 選考方法
 - ・応募を取りまとめのうえ、選考委員会にて審査し、愛称を決定します。
- 発表
 - ・愛称の選考結果は、受賞者に直接通知するほか、椎葉村ホームページ等で発表します。
- その他
 - ・原則として選考委員会における決定愛称を施設愛称としますが、必要に応じて応募者の承諾を得たうえ一部変更して使用する場合があります。
 - ・採用作品に関する著作権などの一切の権利は、椎葉村に帰属するものとします。
 - ・応募用紙等は返却しません。また、応募にかかる費用は応募者の負担とします。
 - ・募集に伴う個人情報、本公募に関する業務に限り使用します。ただし、決定愛称の作者については、氏名、住所（地区名まで）、性別、年齢を椎葉村ホームページ等で公表するとともに報道機関へ決定情報と併せて提供します。

応募用紙（郵送・直接提出・FAX用）
※公募の際は切り取らず、この用紙のまま応募してください。

(ふりがな) 愛称		※4～10文字	
愛称の説明（理由：意味など）			
(ふりがな) 氏名		住所：〒	
性別：	年齢： 歳	電話番号：	

お問い合わせ先・応募先
椎葉村地域振興課 企画グループ
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1762-1
TEL：0982-67-3203 FAX：0982-67-2825
E-MAIL：shbwebm@vill.shiiba.miyazaki.jp